

**2019年度協定留学プログラム  
派遣学生留学状況報告書**

非公開希望	項目	内容
	所 属	国際社会科学部                      国際社会科学科                      3年（留学年次） 3年（帰国年次）
公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 淡江大学（蘭陽校園） 国際観光管理學系全英語學士班 (Department of International Tourism Management)
	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2019年2月18日～2019年6月21日 出国日            2019年2月16日 最終帰国日      2019年6月24日

留学の状況について、各項目について書いてください。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく詳細な記述をお願いします。

**1. 留学全般について**

**(1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等**

留学当初は、とにかく現地の生活に慣れること、授業の復習に時間を割いていた為、週末に買い物に行くことやハイキングをすること以外は部屋で過ごすことが多かったが、留学生活を始めて1か経った頃に生活のリズムに慣れました。この頃から、積極的に友人を作り、台北に遊びに行くことや、有名な観光地に一緒に行きました。クラブ活動にも積極的に参加し活動日以外にも仲間とバドミントンを楽しみました。友人や教授と話す機会も増えて、恐れずに意見を言えるようになったのも、この時期からでした。

**(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること**

まず、日常会話程度の中国語を勉強しておくべきでした。現地で中国語の授業を受講していたが週に4時間授業があったので留学前に想像していたよりも中国語が上達したと感じた。その分、留学前から勉強を始めておけば得るものも多かったかもしれない。次に現地の環境や買い物をする場所などを事前に調べておく必要があったと感じました。寮のチェックイン時に台湾人に現地の大学に通っている日本人留学生を紹介して貰った事で当初は、買い物やベッドの購入を手伝って貰いましたが、日本人留学生が居なければ、現地の大学生は授業開始ギリギリまで寮に来ないので自分一人で買い物をする必要がありました。現地の大学にとっては、二学期からの留学なので私のように一から留学生活を始める学生もいなく、事務室の人びとのサポートも授業開始日までは、ありませんでした。その為、あらかじめ現地の環境や情報を手に入れておく必要があると感じました。

最後に現地にお金を幾ら持っていくのか、口座を作るのかをあらかじめ決めておくべきでした。私は結局、口座を作りませんでした。その分多めにお金を持っていくことに少し不安があった為、両親と何度も話し合った記憶があります。何事も前もって、行うことをお勧めします。

## 2. 留学先大学について

### (1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

現地の大学では毎日、課題がたくさん出ました。出席点や発言点、グループワーク、毎週の課題、クイズなども成績に反映される為、毎日授業に出ること、そして授業の復習が必要でした。また、授業内でプレゼンテーションを求められることも多かったです。観光学部の授業は、フィールドワークもありました。寮生活であったので、グループメンバーと直ぐに集まることが出来る点も魅力的でした。私は中国語の語学授業以外は、英語で行われる授業を取っていたのですが、先生方の英語は聞きやすく、授業の進め方も慣れている印象でした。また、少人数の授業が多いので先生方との距離も近く、授業中に意見を求めてくるが多かったです。学習院大学の教授も親しみやすいと思いますが、淡江大学の教授は、より親切でフレンドリーな感じがします。

### (2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

比較的綺麗です。雨の多い地域なのでカビが生えやすく少し汚い外見ですが、中は掃除が行き届いており、きれいだと感じました。月曜日、水曜日、金曜日に外部の清掃が入り、キャンパスや寮が綺麗になります。部屋には清掃は入らないので、ルームメイトと掃除をこまめにしていました。

部屋は二種類あり、一人で暮らすか、二人で暮らすか、選択肢があります。(1人部屋は二人部屋よりも値段が高いです) 留学を始めるにあたり、二人部屋でいいかの確認と、日本人との希望があるかについて聞かれましたが、せっかくの留學生活と考え、台湾人との部屋を希望しました。基本的に、大学側は二人部屋を勧めてきますが、ルームメイトとの間で、問題(夜遅くの長電話、勉強に集中できない)などがあれば、事務室の先生方に話すと1人部屋か、ルームメイトを変えることが出来るそうです。寮の部屋は階によって、家具の色が異なり、私の階は白が基調でとても素敵な部屋でした。各階にリビングルーム二つとキッチン(コンロはない、電子レンジとオーブントースター、シンク、冷蔵庫)が一つ、トイレ(和式4つ洋式3つ)とシャワールーム(5つ)が二つずつありました。

先ほども述べたように週に3日は、清掃は入りますが、台湾の温暖な気候上、虫(ゴキブリ、蚊、ハエ、蛾など)はキャンパス、寮ともに頻繁に見ました。

施設はキャンパス、寮の他に毎日24時間使える、大きい体育館があり、トレーニング用の多様なマシンが使えるほか、様々なスポーツが楽しめます。二回には部室や音楽室があり、私も友人とピアノやギターを弾いて遊んでいました。

山の上に位置しているキャンパスの為、猿や野生の犬が沢山生息しています。

### (3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

なし。





クレジットカードは大きなショッピングモールや台北での買い物時に使いました。一年間、台湾で留学を考えている場合は現地の銀行で口座を作ることをお勧めします。山の下には礁溪という町があり、スーパーマーケット、有名なパン屋、コンビニエンスストア、スターバックスコーヒー、モスバーガー、マクドナルドがあります。それらのお店ではクレジットカードが使えましたが、他の、いわゆる、ローカルなお店では使えませんでした。寮生活の中でお金が盗まれたことは無く、そのような話も聞いたことがありませんが、お金を持っていくことに抵抗があれば口座を作ることをお勧めします。部屋の中に鍵のあるクローゼットと、棚があるので私は、そこにお金を分散して置いていました。

#### (5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

私はビザ申請が初めてであったことと、期末試験期間と被ってしまうことから学部が推奨する にビザの申請と航空券の取得を依頼しました。その際の費用を奨学金に充てました。(75000

台湾ビザ費用(停留査証)5400円

サポート手数料 10000円

往復航空券 62000円

### 5. 保険について

#### (1) 保険会社名

東京海上日動

#### (2) 保険料

42490 円

#### (3) 加入した保険の種類、内容

学研災付帯海外留学保険

「治療・救援費用1億円以上」及び「賠償責任1億円以上」を満たす補償内容

歯科治療費含まず

#### (4) 感想、良かった点・悪かった点

台湾に滞在している際に病気や怪我をすることは無かったですが、帰国便の飛行機がストライキの為に機能せず、その際にかかった費用を保険で2万円補償していただきました。

## 6. 荷物について

### (1) 荷物の送付方法

手荷物 / 船便 / SAL 便 / 航空便 / 海外宅配便 / その他 ( )

### (2) 持って行って良かったと思う物

頭痛薬、胃薬、サトウのごはん、インスタントのスープや味噌汁、スーツ、クレジットカード、大きめのハンガー (バスタオルを干すための)、ハンガー5本

### (3) 持って行く必要が無かったと思う物

特になし

### (4) 持って行けば良かったと思う物

特になし、現地で調達できます。

## 7. 平日および週末の平均的な過ごし方

### (1) 平日

月曜日から水曜日を除く、木曜日までは授業が朝から 16 時まで入っていて忙しいので授業の復習をしていました。

水曜日と金曜日は午前中のみ授業なので午後はバスを使って礁溪の町で友達とおいしい食べ物を巡ることや、電車で数分先の宜蘭でお買い物、映画鑑賞を楽しみました。

### (2) 週末

週末は、ルームメイトや友人と出かけることが多かったです。また、三人の友人の家族に招待して頂き、台北、嘉義、台中、台南なども巡ることが出来ました。留学中で勉強を最優先にしつつ、気分転換や台湾の文化を知るべく、各地を回ることをお勧めします！

## 8. 後輩へのアドバイス等

台湾は飛行機で 4 時間弱、人柄も温かく、文化も日本と似ています。そして台湾の物価は日本の 1/4 である為、とても留学しやすい環境でした。英語も日本よりは通じると感じましたし、英語よりも日本語が通じる場合もあります。少し価格は高いですが、日本の食べ物や商品が手に入りやすいのも台湾の魅力であると考えます。留学を決めることは少し勇気がいると思いますが、留学先では沢山の出会いがあります。一生付き合いたいと思える友人にも出会えました。更に、今まで見つけられなかった新しい「自分」にも出会いました。留学を経験して、後悔したことは一度もありません。みなさんの留学生生活を心から応援しています！

## 9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。

何か留学についての質問や台湾について聞きたいことがあればいつでも連絡してください！